

希望の花

第59号（平成29年3月23日）

兵庫県立視覚特別支援学校 発行

〒655-0884 神戸市垂水区城が山4-2-1

TEL 078-751-3291

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~kenritsu-svn/>



校長より

皆さんは一年前と比べると、見違えるように変化し成長しました。毎日の生活の中で、様々な変化を自分で意識することは難しいかも知れませんが、皆さんは確実に心身ともに成長しています。この機会に、この12ヶ月間をどのように過ごしたのかを振り返って欲しいと思います。新しい学年・学部に進む前のこの節目に、自分の日常生活を振り返り、将来への夢や目標を具体的な形にしておくことはとても価値あることです。明日からは春休みに入りますが、まずは、1日1日を大切に過ごしてください。そして、始業式には、元気な顔を見せてください。

教頭より

「歩み」を止めないでください。

漢字「歩」という字は、『止まる』が『少ない』と書きます。

昨日よりも、

今日の自分はすてきだ！

今日の自分よりも、

明日の自分はもっとすてきになる！

と、スモールステップで、前に向かっていってほしい。



このように一步一步の『歩み』（＝積み重ね）を大切にされた学校生活にしてほしいと願っています。

卒業証書授与式

平成29年3月8日(水)、本校体育館にて第69回小学部・中学部、第92回高等部卒業証書授与式が行われました。小学部、中学部、高等部あわせて17名が旅立ちの日を迎えました。卒業生は、少し緊張した面持ちで入場。一人ひとり名前がよばれ、野田校長から卒業証書を受け取りました。式辞の中で、塙保己一学園の生徒の詩が、はなむけの言葉として卒業生に送られました。式中、在校生は、心温まる卒業生との思い出を、卒業生は、在校中の楽しかったこと、辛かったこと、努力したこと、そしてお世話になった人たちへの感謝の気持ちを伝えていました。中でも高等部代表の答辞は、小学部から高等部専攻科卒業までの15年の長きにわたる道のりを述べたもので、これに涙する生徒や保護者もいました。式の後、卒業生は、在校生が作る花道の中、握手や言葉を交わしながら、親しんだ学び舎を後にしました。

